

2019年3月期 (2018年度) 決算ハイライト



 **リそなホールディングス**
RESONA

2019年5月10日

- 本資料における表記、計数の定義は下記の通りです。

関西みらいフィナンシャルグループ経営統合によるりそなホールディングスへの財務影響のご理解に資するよう、**[前期比]**および**[実質前期比]**での計数を記載しております。

[前期比] : 2018/3期におけるHDの連結実績との比較

[実質前期比]・HD連結 : 2018/3期におけるHD、KU、MBの各連結計数を合計したものとの比較

* (「非支配株主に帰属する当期純利益」においてKU、KO、MB連結の非支配株主持分(48.8%)を調整)

・5行合算 : 2018/3期における5行の各単体計数の合計との比較

[HD] りそなホールディングス、**[RB]** りそな銀行、**[SR]** 埼玉りそな銀行、

[KMFG] 関西みらいフィナンシャルグループ、

[KU] 関西アーバン銀行、**[KO]** 近畿大阪銀行、**[MB]** みなと銀行、

[3行] RB・SR・KO **[5行]** RB・SR・KU・KO・MB

計数には社内管理計数を含みます。

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行および解釈に係る展開および変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

2019年3月期 決算の概要

■ 親会社株主に帰属する当期純利益 : 1,751億円

前期比△610億円(△25.8%)、実質前期比△690億円(△28.2%)

業績目標(11月公表)比△249億円、同(19/4月公表)比+51億円

- 一時的な利益による増減 △457億円
 - KMFG統合関連一時利益による増減 △316億円
 - 前期計上の保証子会社再編影響の剥落 △141億円

- 有価証券ポートフォリオの健全化 △227億円

■ 業務粗利益 : 6,441億円、実質前期比△171億円(△2.5%)

預貸金利回り差の低下幅は縮小、貸出金ボリュームと
フィー収益の増加は継続、収益構造改革に一定の進展

- 国内預貸金利益: 実質前期比△111億円
貸出金平残: +2.89%、通期計画+2.54%を上回り推移
預貸金利回り差△0.06%は計画通り
- フィー収益: 実質前期比+60億円(+3.2%)
フィー収益比率30.0%、フィー収益は過去最高水準
保険、住宅ローン関連が全体を牽引

■ 経費 : △4,205億円、実質前期比△0億円

■ 与信費用 : △13億円、実質前期比△114億円

■ 2020/3期 株主還元方針

自社株買いを実施し、株主還元を更に拡充

- ①100億円を上限とする自社株買い
- ②1株当たり年間配当金21円の継続

HD連結(億円)	2019/3期 (a)	前期比		《ご参考》 実質前期比	
		(b)	増減率 (c)	(d)	増減率 (e)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (1)	1,751	△610	△25.8%	△690	△28.2%
1株当たり当期純利益(EPS、円) (2)	75.63	△24.88	△24.7%		
1株当たり純資産(BPS、円) (3)	911.17	+10.45	+1.1%		
株主資本ROE *1 (4)	10.85%	△4.91%			
業務粗利益 (5)	6,441	+916	+16.5%	△171	△2.5%
資金利益 (6)	4,359	+675		△183	
うち国内預貸金利益 *2 (7)	3,537	+660		△111	
フィー収益 (8)	1,938	+257		+60	
フィー収益比率 (9)	30.0%	△0.3%		+1.7%	
信託報酬 (10)	192	+6		+6	
役員取引等利益 (11)	1,745	+251		+54	
その他業務粗利益 (12)	144	△17		△49	
うち債券関係損益(先物込) (13)	△78	△27		△29	
経費(除く銀行臨時処理分) (14)	△4,205	△793	△23.2%	△0	△0.0%
経費率 (15)	65.2%	+3.5%		+1.7%	
実質業務純益 (16)	2,256	+140	+6.6%	△154	△6.3%
株式等関係損益(先物込) (17)	71	△59		△106	
与信費用 (18)	△13	△160		△114	
その他の臨時・特別損益 (19)	71	+307		+326	
税金等調整前 当期純利益 (20)	2,386	+227	+10.5%	△48	△1.9%
法人税等合計 (21)	△573	△783		△722	
非支配株主に帰属する 当期純利益 (22)	△61	△55		+80	

【2020/3期 目標】

親会社株主に帰属する当期純利益 1,600

*1. (親会社株主に帰属する当期純利益-優先配当相当額) ÷ (株主資本-優先株式残高)、期首・期末平均

*2. 国内預貸金利益: 5行合算、銀行勘定(譲渡性預金を含む) *3. 利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

2019年3月期 損益内訳

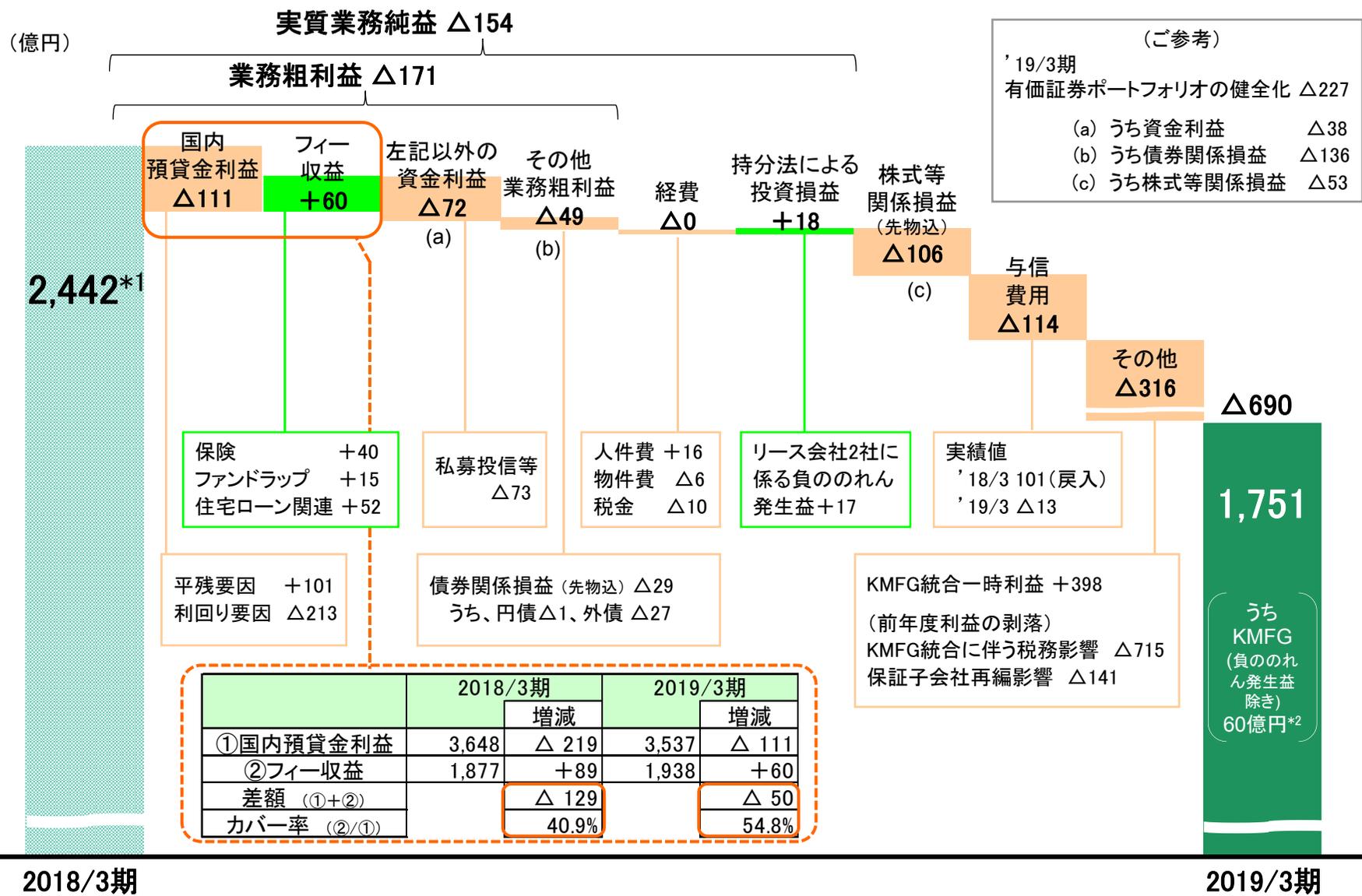
(億円)	HD連結			銀行合算		りそな銀行			連単差 (a)-(d)
	(a)	前期比 (b)	《ご参考》 実質前期比 (c)	(d)	《ご参考》 実質前期比 (e)	(f)	埼玉りそな銀行 (g)	KMFG銀行 合算 (h)	
業務粗利益 (1)	6,441	+916	△171	5,930	△162	3,399	1,135	1,395	511
資金利益 (2)	4,359	+675	△183	4,345	*i △162	2,293	894	1,157	13
うち国内預貸金利益 (3)				3,537	△111	1,783	750	1,002	
フィー収益 (4)	1,938	+257	+60	1,473	+67	1,013	240	220	464
フィー収益比率 (5)	30.0%	△0.3%	+1.7%	24.8%	+1.7%	29.8%	21.1%	15.7%	
信託報酬 (6)	192	+6	+6	192	+5	192			△0
役務取引等利益 (7)	1,745	+251	+54	1,281	+61	821	240	220	464
その他業務粗利益 (8)	144	△17	△49	110	△66	92	0	18	33
うち債券関係損益(先物込) (9)	△78	△27	△29	△97	△49	△69	△26	△1	19
経費(除く銀行臨時処理分) (10)	△4,205	△793	△0	*1 △3,976	△3	△2,112	△743	*1 △1,120	△229
経費率 (11)	65.2%	+3.5%	+1.7%	67.0%	+1.8%	62.1%	65.4%	80.2%	
持分法による投資損益 (12)	*2 21	+18	+18						21
実質業務純益 (13)	2,256	+140	△154	1,953	△166	1,286	392	275	303
株式等関係損益(先物込) (14)	71	△59	△106	120	*j △581	105	△22	37	△49
与信費用 (15)	△13	△160	△114	1	△145	51	△8	△41	△14
その他の臨時・特別損益等 (16)	71	+307	+326	△314	△99	△164	△38	△112	385
うちKMFG統一一時利益 (17)	398	+398	+398						398
税引前(税金等調整前) 当期純利益 (18)	2,386	+227	△48	1,761	△993	1,279	322	159	624
法人税等合計 (19)	△573	*3 *k △783	*3 *k △722	△502	*k △9	△372	△101	△28	△70
非支配株主に帰属する 当期純利益 (20)	△61	△55	+80						△61
(親会社株主に帰属する) 当期純利益 (21)	1,751	△610	△690	1,258	△1,002	907	220	130	492

*1. KUの旧びわこ銀行のれん償却額(△7)を除く *2.首都圏リース、ディー・エフ・エル・リースの持分法適用会社化に伴う負のれん発生益(17)を含む

*3. KMFG統合に伴う税務影響の剥落要因(△715)を含む *4. 保証子会社再編影響の剥落要因を含む【*i.近畿大阪信用保証からKOへの配当△49(連結消去) *j.りそな保証株式の売却益△529(RB△393、SR△135)(連結消去) *k.税務影響△141(連結消去対象外)】

親会社株主に帰属する当期純利益の実質前期比増減要因

HD連結



2018/3期

2019/3期

*1. 2018/3期におけるHD連結純利益(2,362)+KU、MB各連結純利益(KU138、MB76)×51.2% - KO連結純利益(61)×(100%-51.2%)
*2. (KMFG連結純利益(684) - KMFG負のれん発生益(566))×51.2%

貸出金・預金の平残・利回り(国内)

銀行合算

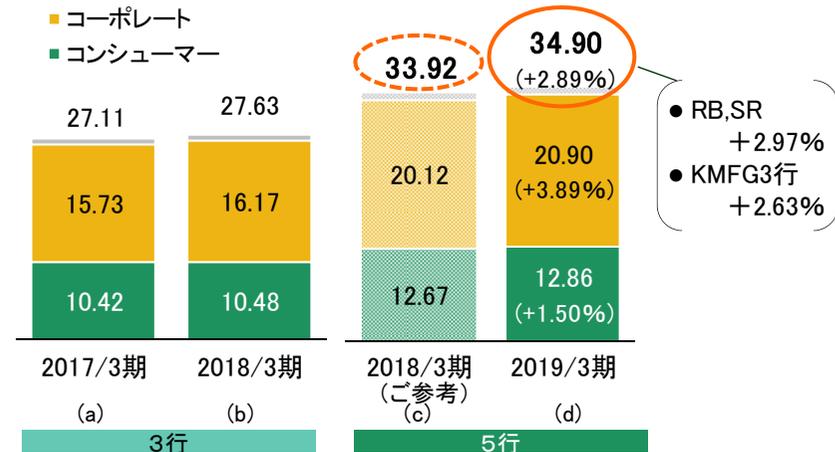
貸出金・預金の平残、利回り、利回り差

平残: 兆円 収益・費用: 億円		2019/3期		2020/3期	
		実績 (a)	実質 前期比*3 (b)	計画 (c)	前期比*3 (d)
貸出金	平残 (1)	34.90	+2.89%	35.63	+2.08%
	利回り (2)	1.03%	△0.06%	0.98%	△0.04%
	収益 (3)	3,613	△129	3,519	△94
コーポレート 部門(公共除) *1	平残 (4)	20.90	+3.89%	21.40	+2.36%
	利回り (5)	0.87%	△0.06%	0.83%	△0.04%
コンシューマー 部門*2	平残 (6)	12.86	+1.50%	13.14	+2.21%
	利回り (7)	1.32%	△0.07%	1.26%	△0.06%
預金+NCD	平残 (8)	50.81	+3.45%	51.77	+1.89%
	利回り (9)	0.01%	△0.00%	0.01%	△0.00%
	費用 (10)	△76	+17	△66	+9
預貸金	利回り差 (11)	1.02%	△0.06%	0.97%	△0.04%
	利益 (12)	3,537	△111	3,452	△84

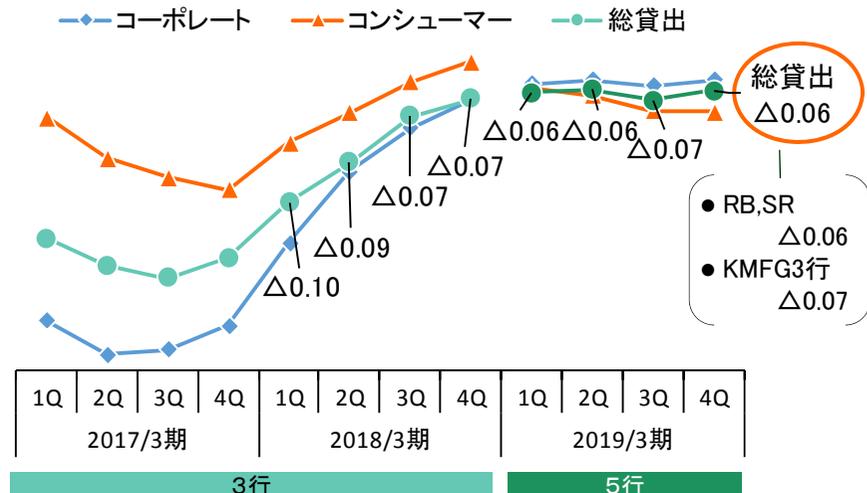
*1. コーポレート部門(公共除): 一般貸出 + アパートマンションローン
 *2. コンシューマー部門: 自己居住用住宅ローン + 消費性ローン
 *3. 平残は増減率

貸出金平残、利回り推移

【貸出金平残(兆円)】()内は実質前期比増減率



【貸出金利回り 前同比(%)】



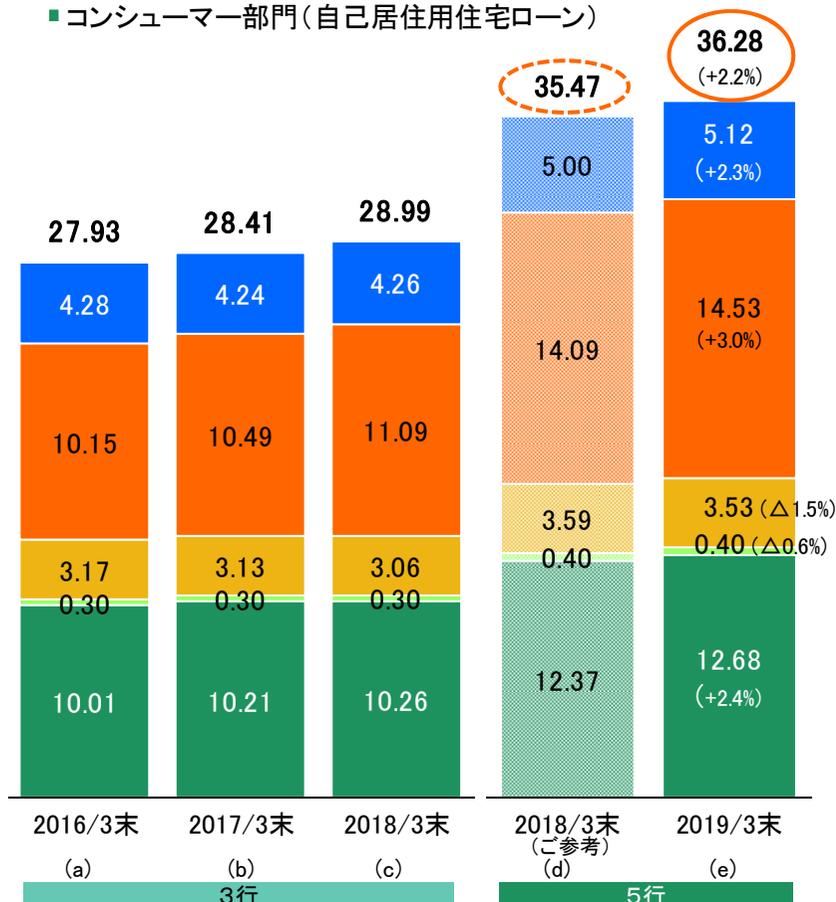
貸出金・預金末残

銀行合算

貸出金末残

兆円、()内は
実質前期比増減率

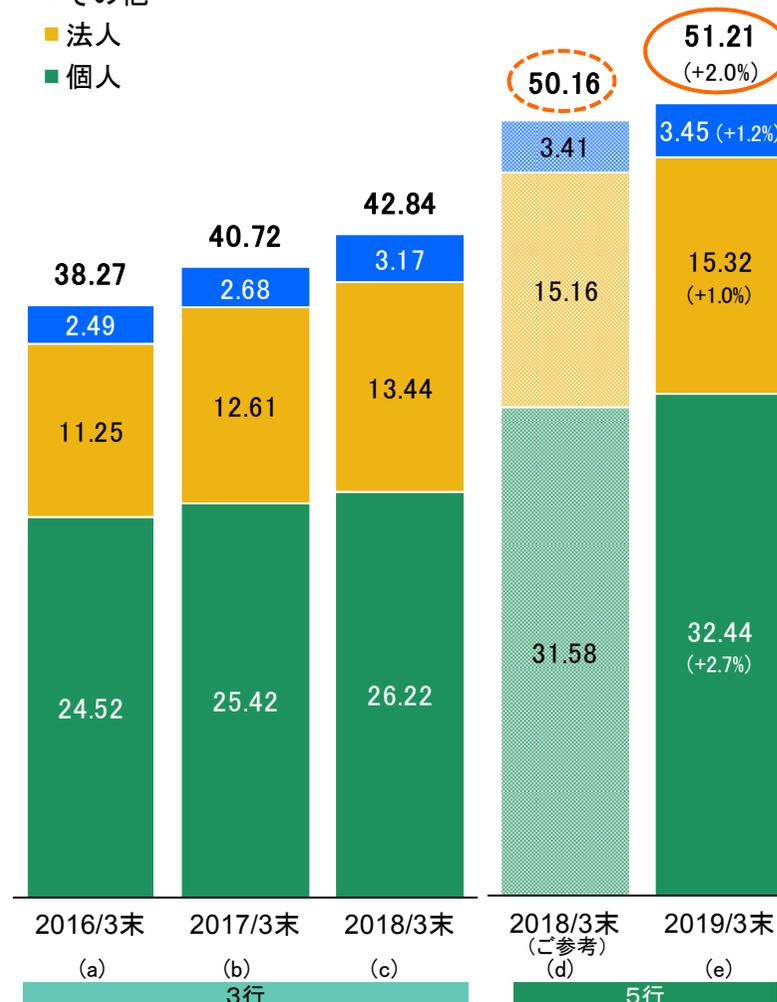
- コーポレート部門(大企業・その他)
- コーポレート部門(中小企業)
- コーポレート部門(アパートマンションローン)
- コンシューマー部門(消費性ローン)
- コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン)



預金末残

兆円、()内は
実質前期比増減率

- その他
- 法人
- 個人



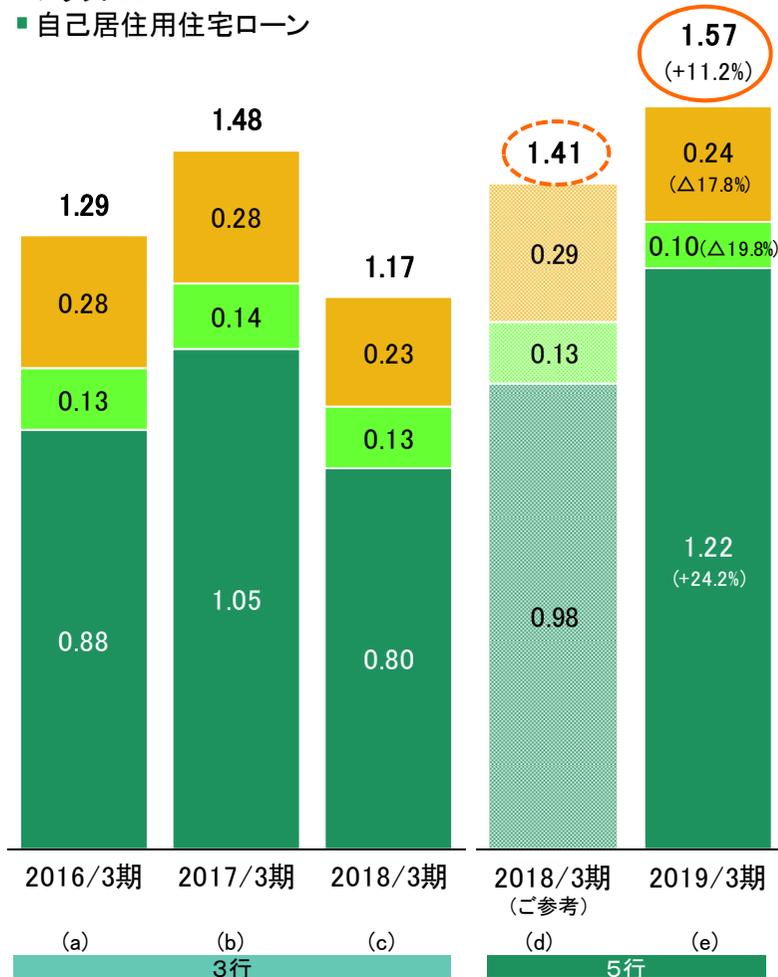
住宅ローンビジネス

銀行合算

住宅ローン実行額

兆円、()内は
実質前期比増減率

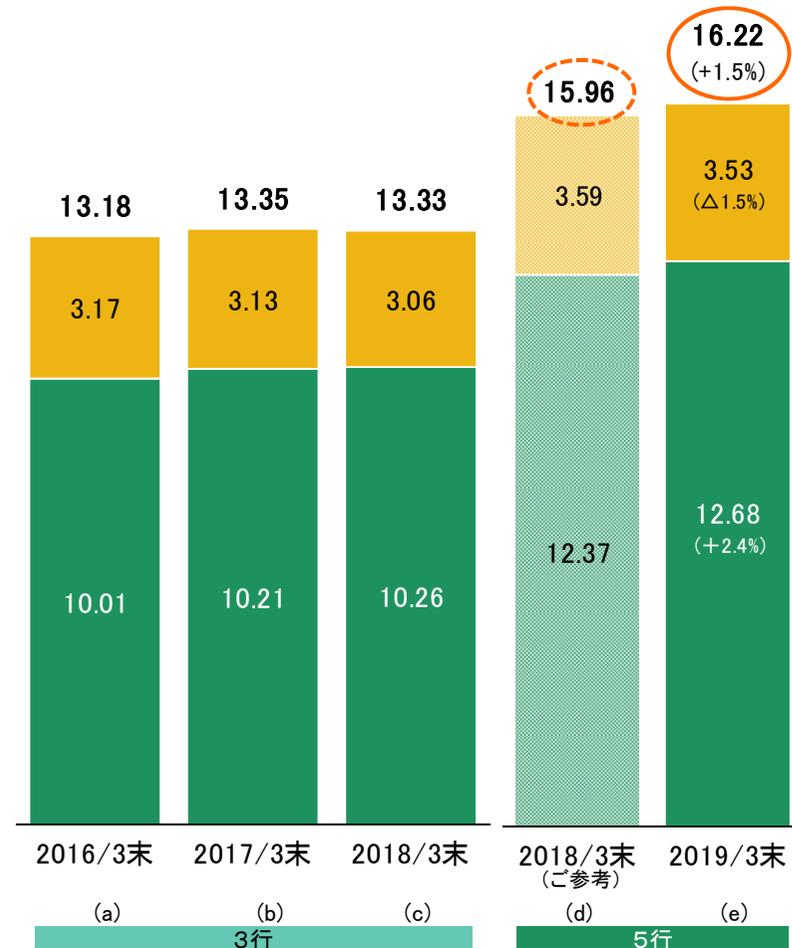
- アパートマンションローン
- フラット35
- 自己居住用住宅ローン



住宅ローン未残

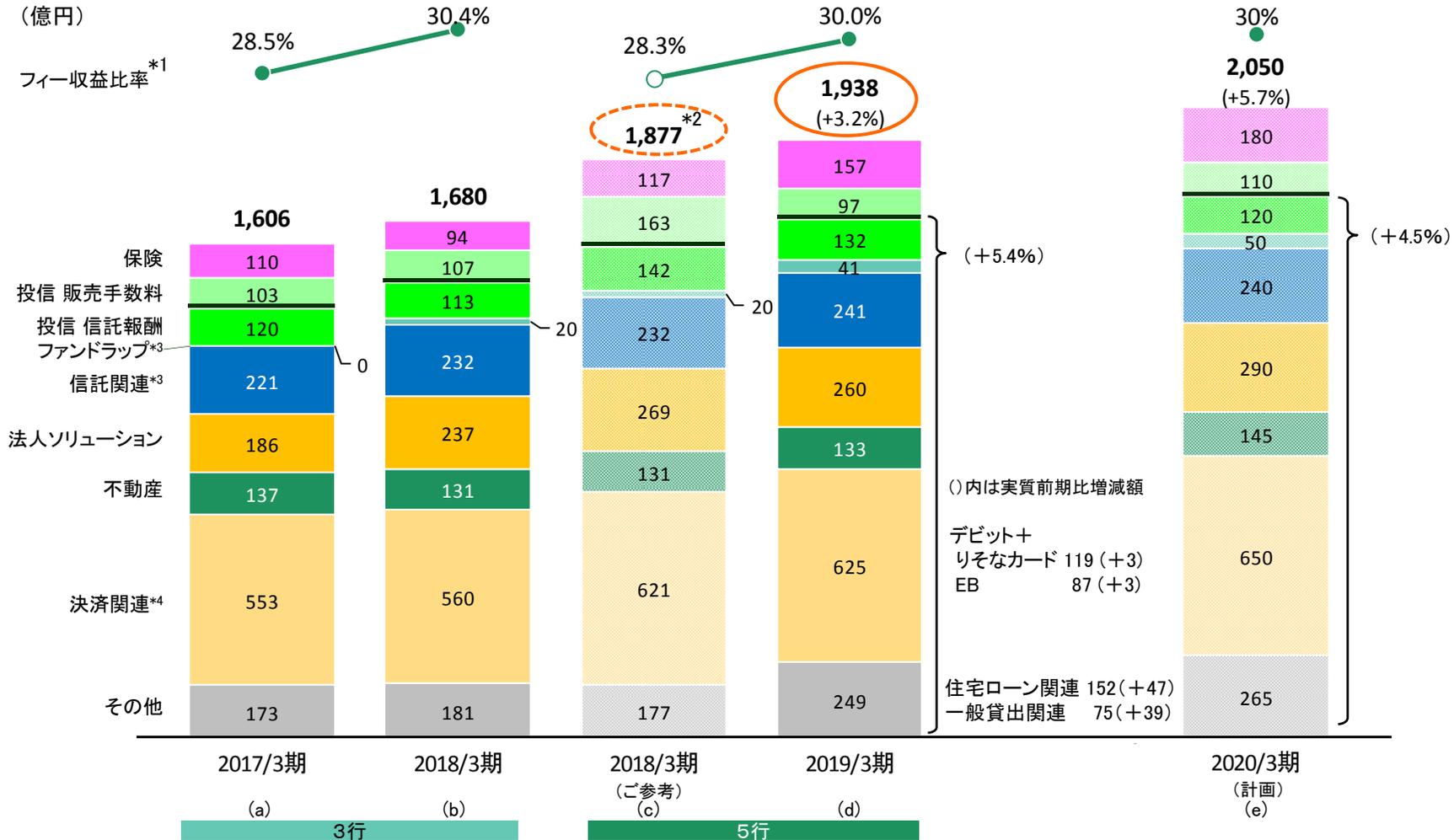
兆円、()内は
実質前期比増減率

- アパートマンションローン
- 自己居住用住宅ローン



フィー収益

- 2019/3期のフィー収益比率*1は30.0%
- 保険(実質前期比 +34%)、ファンドラップ(同 2倍)、住宅ローン関連(同 +45%)が全体を牽引
- 保険・投信販売手数料を除くフィー収益は実質前期比+5.4%

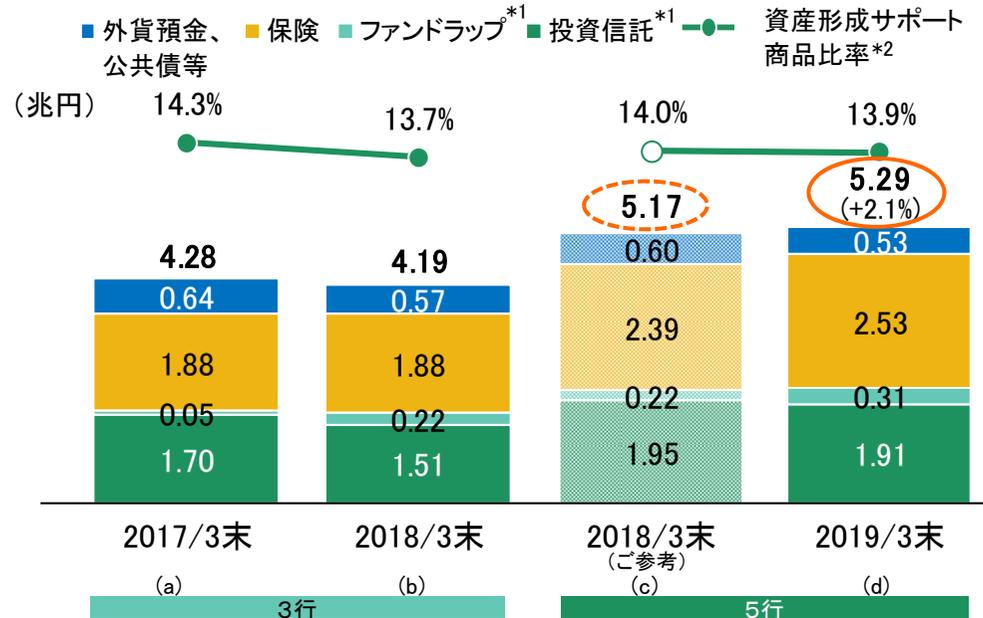


*1. (役務取引等利益+信託報酬)／業務粗利益
*3. りそなアセットマネジメントの役務利益を含む

*2. HD、KU、MBの連結役務取引等利益と連結信託報酬を合算
*4. 内為、口振、EB、VISAデビットおよびりそな決済サービス、りそなカードの役務利益

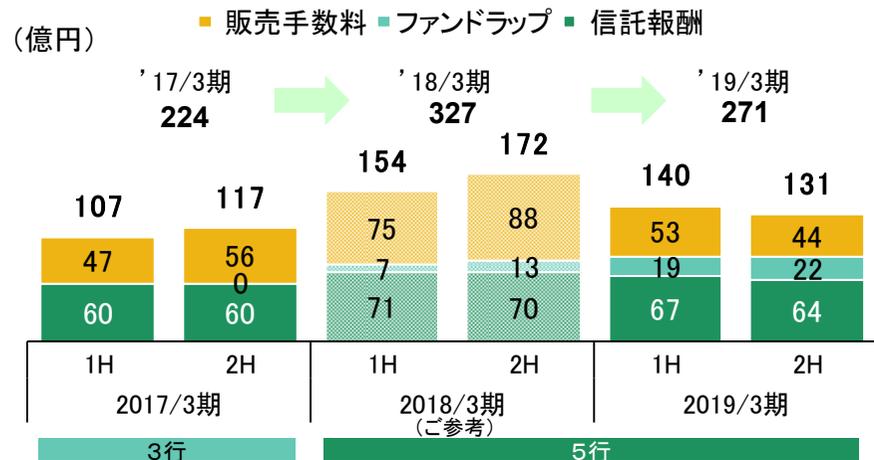
主要なフィージネス(1) (資産形成サポートビジネス)

【個人向け資産形成サポート商品残高】

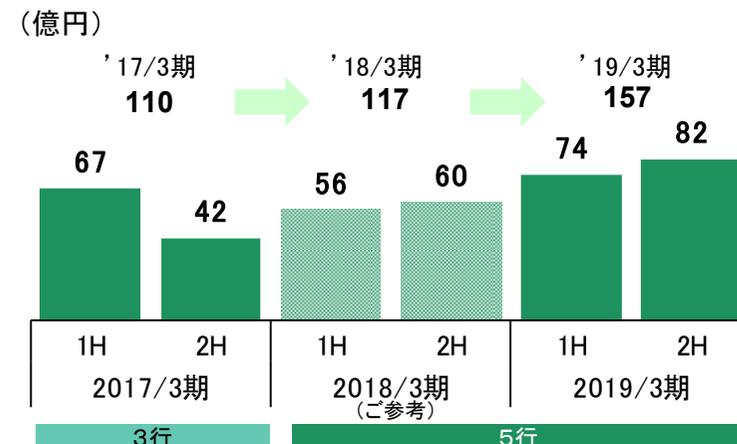


- ファンドラップ残高*1: '19/3末 3,103億円 (法人込 3,476億円)
- 投資信託・ファンドラップの増減: +約440億円
 - うち純流入額(販売-解約・償還): 約+460億円
- 投信・FW、保険利用先数: '19/3末 90万先
 - うちNISA口座数*3: 33万口座
- iDeCo加入者数*4: '19/3末 9.9万先(前期比+33%)

【投資信託・ファンドラップ収益】



【保険収益】



*1. 時価ベース残高 *2. 個人向け資産形成サポート商品残高/(個人向け資産形成サポート商品残高+個人預金(円貨))
 *3. NISA、ジュニアNISA、積立NISA *4. iDeCo加入者+運用指図者

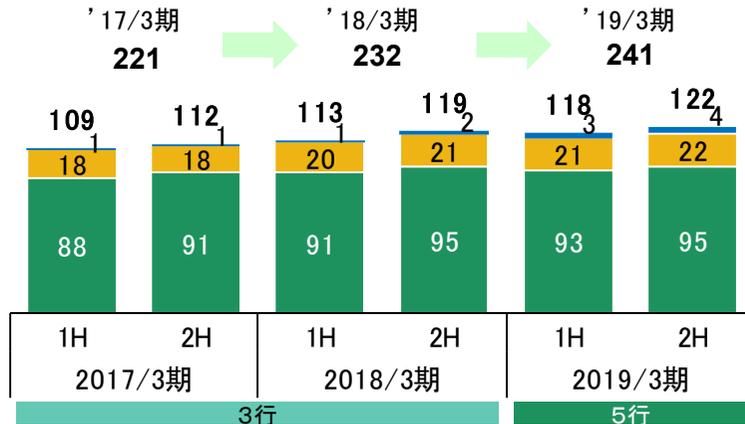
主要なフィージネス(2) (信託・法人ソリューション・不動産)

HD連結

信託業務関連収益

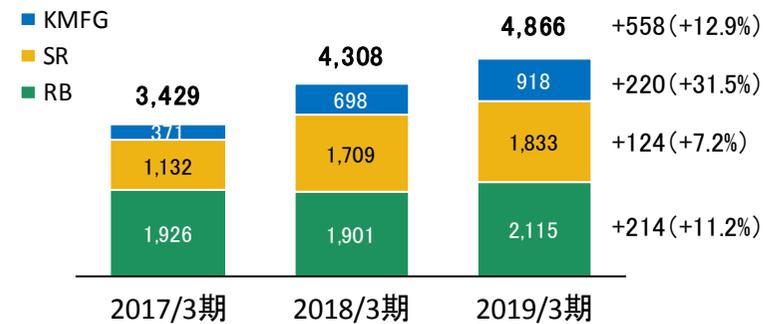
(億円)

■ リソなアセットマネジメント ■ 承継信託 ■ 年金・証券信託



■ 信託機能のグループ展開を通じた収益機会の拡大
⇒ 承継信託: 収益・利用件数共に過去最高を記録

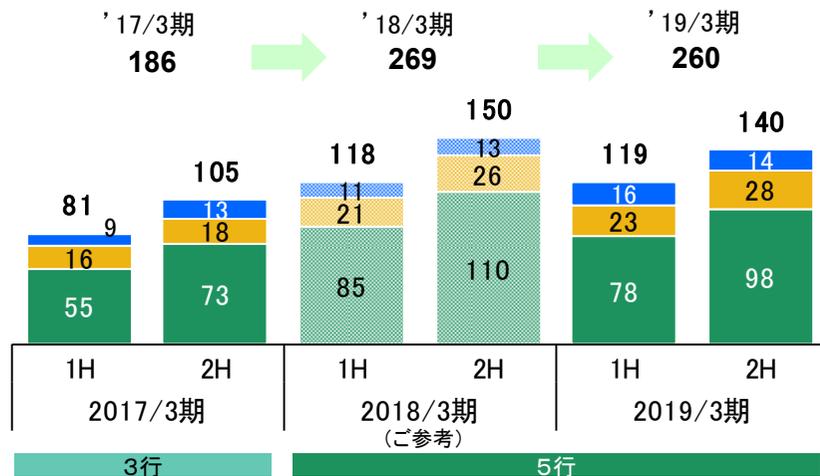
【承継信託 新規利用件数】



法人ソリューション収益

(億円)

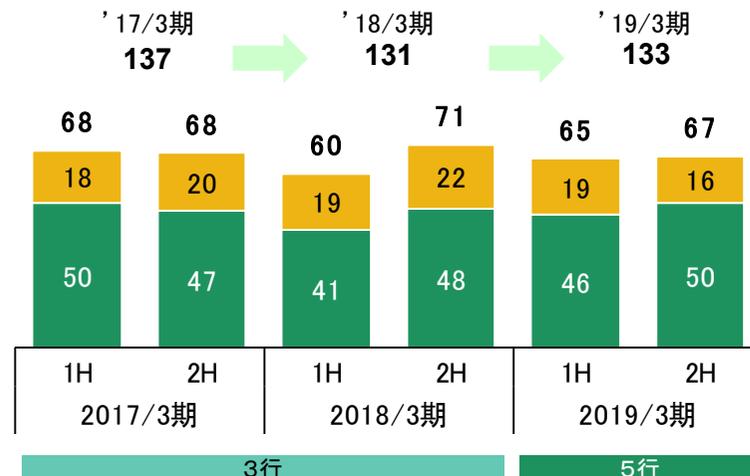
■ M&A ■ 私募債 ■ コミット/シローン/コベナンツ



不動産業務収益*1

(億円)

■ 法人 ■ 個人



*1. 不動産ファンド出資関連収益除く

与信費用、不良債権

与信費用

(億円)	3行		5行	
	2018/3期 (a)	2018/3期 (ご参考) (b)	2019/3期 (c)	2020/3期 計画 (d)
HD連結*1 (1)	147	101	△13	△225
銀行合算 (2)	175	147	1	△170
一般貸倒引当金 (3)	66	90	112	
個別貸倒引当金等 (4)	108	57	△110	
新規発生 (5)	△154	△222	△313	
回収・上方遷移等 (6)	262	279	202	
連単差 (7)	△27	△46	△14	△55
うち、住宅ローン保証 (8)	11	0	30	
うち、りそなカード (9)	△23	△23	△22	
<与信費用比率> (bps)				
HD連結*1,2 (10)	5.1	2.8	△0.3	△6.1
銀行合算*3 (11)	5.9	4.0	0.0	△4.5

*正の値は戻入を表す

*1. 2018/3期(5行)の計数はHD、KU、MBの各連結計数の合計

*2. HD連結与信費用/(連結貸出金+連結支払承諾見返未残)(期首・期末平均)

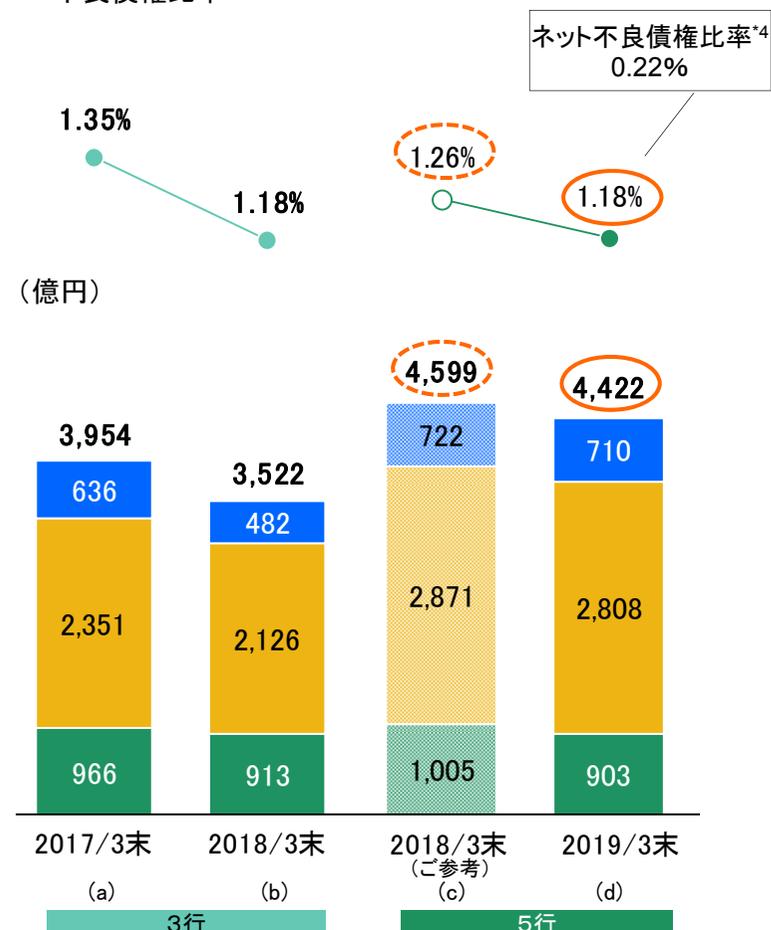
*3. 銀行合算与信費用/金融再生法基準与信残高(期首・期末平均)

*4. 担保/保証・引当金控除後不良債権比率

不良債権残高・比率(銀行合算)

(金融再生法基準)

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
- 危険債権
- 要管理債権
- 不良債権比率



有価証券*1

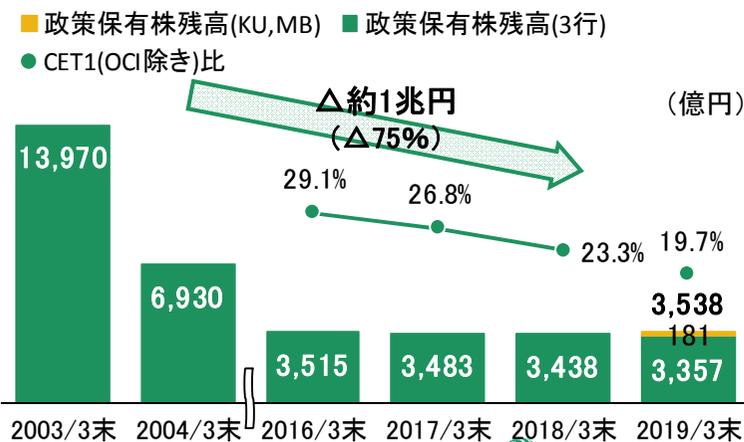
(億円)	5行			
	2018/3末 (ご参考) (a)	2018/9末 (b)	2019/3末 (c)	評価差額 (d)
その他有価証券 (1)	29,181	39,757	25,665	5,983
株式 (2)	3,654	3,620	3,538	5,870
債券 (3)	15,327	22,800	11,882	65
国債 (4)	3,251	11,125	461	5
(デュレーション) (5)	6.5年	7.4年	6.7年	-
(BPV) (6)	△2.1	△8.2	△0.3	-
地方債・社債 (7)	12,075	11,675	11,420	59
その他 (8)	10,199	13,336	10,245	47
外国債券 (9)	3,892	7,370	4,723	64
(デュレーション) (10)	8.4年	7.7年	5.3年	-
(BPV) (11)	△3.1	△5.1	△1.8	-
国内投資信託 (12)	6,080	5,747	5,406	△45
(評価差額) (13)	6,728	6,871	5,983	
満期保有債券 (14)	20,571	21,851	21,274	471
国債 (15)	15,655	16,070	15,395	341
(評価差額) (16)	520	405	471	

- 変動性の高い市場環境の中、有価証券ポートフォリオの健全化を実施(△227億円)

- 3資産の評価差額は改善 (4)+(9)+(12)
'18/9末 △286 ⇒ '18/12末 △321 ⇒ '19/3末 +24 (億円)
- 2020/3期における収益のダウンサイドリスクを低減

政策保有株式

- 損益分岐点株価(日経平均ベース): 7,600円程度
- 2019/3期 削減額(上場分・取得原価): 116億円
売却益(同): 167億円
- 保有の是非は中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンを検証により判断し、中期的に普通株式等Tier1*2比「10%台」に削減方針
- 2017/3期からの5年間で350億円程度の削減を計画



*1. 取得原価、時価のある有価証券 *2. OCI除き

自己資本比率

HD連結

■ 2019/3末の自己資本比率(国内基準)は10.10%、普通株式等Tier1比率※(国際統一基準)は9.30%と十分な水準を維持
※その他有価証券評価差額金除き

国内基準

(億円)	2018/3	2019/3	増減
自己資本比率 (1)	10.65%	10.10%	△0.55%
自己資本の額 (2)	16,260	19,259	+ 2,998
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	16,899	19,781	+ 2,881
うち普通株式に係る株主資本の額 (4)	15,440	16,367	+ 927
うち調整後非支配株主持分の額 (5)	146	2,362	+ 2,216
うち劣後債等 (経過措置による算入) (6)	1,309	970	△339
コア資本に係る調整項目の額 (7)	638	521	△117
リスク・アセット等 (8)	152,621	190,620	+ 37,999

■ リスク・アセット等の増減要因

- KU・MB取り込み(統合時点) +45,390億円
- 貸出金の残高増加 +3,385億円
- パラメータ低下等 △6,279億円
- 投資信託・ETF等の残高減少 △3,284億円

■ グループ銀行、銀行持株会社

国内基準 (億円)	りそな (連結)	埼玉りそな (単体)	KMFG (連結)
自己資本比率 (24)	10.33%	12.33%	6.86%
自己資本の額 (25)	10,762	3,386	4,620
リスク・アセット等 (26)	104,132	27,447	67,274

(参考)国際統一基準

(億円)	2018/3	2019/3	増減
その他有価証券評価差額金除き (9)	9.50%	9.30%	△0.20%
普通株式等Tier1比率 (10)	12.58%	11.47%	△1.11%
Tier1比率 (11)	12.60%	11.54%	△1.06%
総自己資本比率 (12)	13.56%	12.21%	△1.35%
普通株式等Tier1資本の額 (13)	19,907	22,392	+ 2,485
基礎項目 (14)	20,652	23,093	+ 2,441
うち普通株式に係る株主資本の額 (15)	15,440	16,367	+ 927
うちその他有価証券評価差額金 (16)	4,866	4,239	△627
うち調整後非支配株主持分の額 (17)	33	2,227	+ 2,194
調整項目の額 (18)	744	701	△43
その他Tier1資本の額 (19)	27	118	+ 90
Tier1資本の額 (20)	19,935	22,511	+ 2,575
Tier2資本の額 (21)	1,529	1,306	△223
総自己資本の額(Tier1+Tier2) (22)	21,464	23,817	+ 2,352
リスク・アセット等 (23)	158,180	195,066	+ 36,886

(参考)

■ KMB・MBのF-IRB適用予定(2019/6~)

■ バーゼル3最終化の影響

(その他有価証券評価差額金除き)普通株式等Tier1比率 8.8%程度※

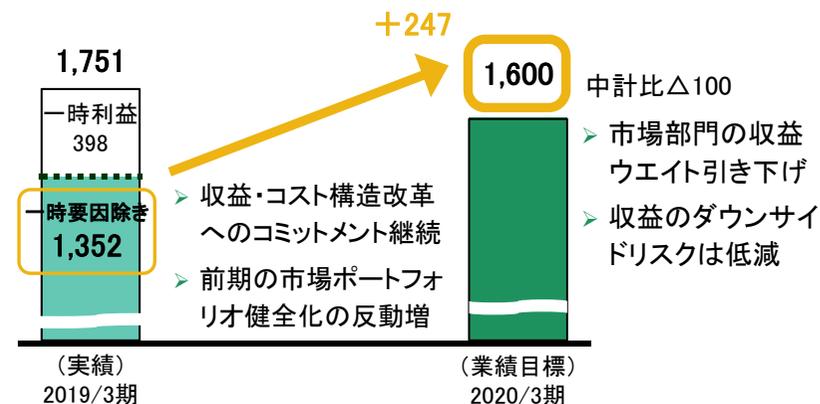
※ 2019/3末実績値(9)に対し、バーゼル3最終化(SA・資本フロア見直し等・完全実施基準)によるリスク・アセット増加のみを反映した試算値

2020年3月期 業績目標

HD連結・銀行合算

HD連結

(億円)		中間期 目標	通期 目標	前期比
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	(1)	760	1,600	△151
KMFG *1	(2)	25	65	
その他連単差	(3)	75	155	



銀行合算/各社単体

(億円)	銀行合算			りそな銀行			埼玉りそな銀行			KMFG 銀行合算		
	中間期 目標	通期 目標	前期比	中間期 目標	通期 目標	前期比	中間期 目標	通期 目標	前期比	中間期 目標	通期 目標	前期比
業務粗利益 (4)	3,060	6,160	+230	1,760	3,525	+126	610	1,200	+65	690	1,430	+35
経費 (5)	△2,010	△4,015	△39	△1,050	△2,095	+17	△370	△745	△2	△590	△1,175	△55
実質業務純益 (6)	1,050	2,145	+192	710	1,430	+144	240	455	+63	100	255	△20
株式等関係損益(先物込) (7)	55	270	+150	35	185	+80	5	40	+62	15	45	+8
与信費用 (8)	△60	△170	△171	△30	△85	△136	△10	△30	△22	△25	△55	△14
税引前当期(中間)純利益 (9)	995	2,095	+334	710	1,510	+231	215	430	+108	65	155	△4
当期(中間)純利益 *2 (10)	705	1,490	+232	510	1,080	+173	150	300	+80	45	110	△20

*1. HDの出資比率(51%)を勘案後

*2. 当期(中間)純利益は非支配株主に帰属する当期(中間)純利益が控除されていません。

資本政策の方向性

①成長投資、②資本充実、③株主還元の3つに対するイコールウェイトの配分方針

自己資本比率目標

- 現行中計(～2020/3末) CET1比率目標*1 「9%程度」を1年前倒しで達成
 - 2019/3末(実績): 9.30%
 - パーゼル3最終化(SA・資本フロア見直し等)は完全実施までの時間軸で対応

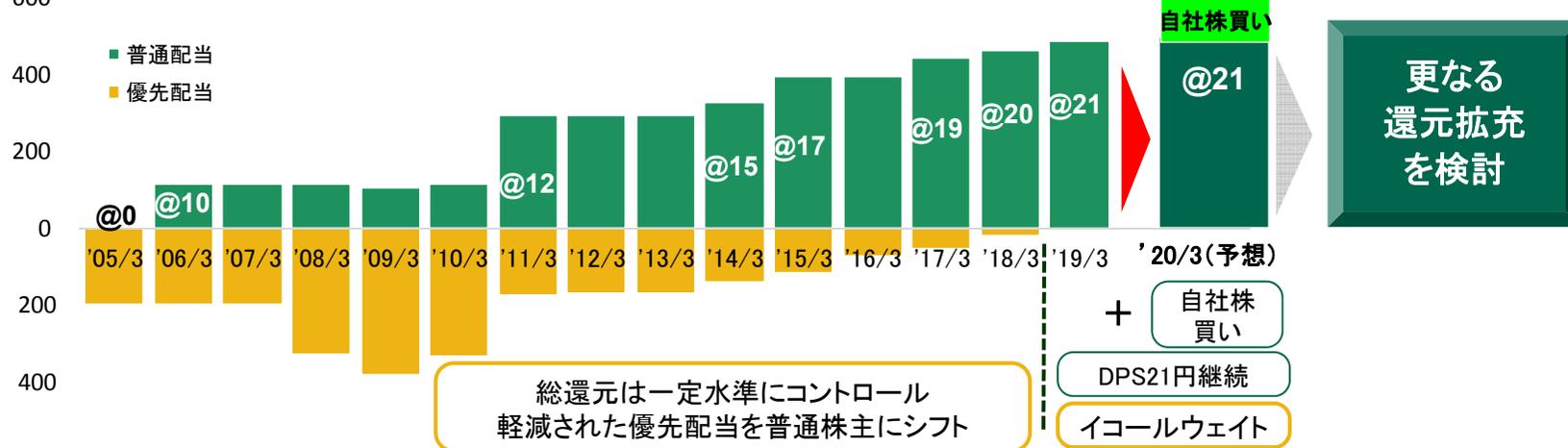
ROE目標

- 10%を上回るROE*2の確保を目指す
 - 2019/3期(実績): 10.85%

株主還元方針

- 「イコールウェイト」の配分方針の下、安定配当を継続しつつ、更なる株主還元拡充に取り組んでいく
 - 2019/3期(実績): 普通株DPS 年間21円(前年比+1円) 18年度業績は目標未達となるも、期初予想通り増配実施
 - 2020/3期(予想): ①普通株DPS 年間21円 継続に加え、②自社株買い(100億円又は3千万株を上限)
 - ②は現在の株価水準を踏まえた追加還元アクション
 - イコールウェイトの配分をベースとしつつ、一部枠外の原資も活用することで、自社株買い規模を100億円水準まで引き上げ
 - 2020/3期 予想・総還元性向*3 36.7%

(億円) 600

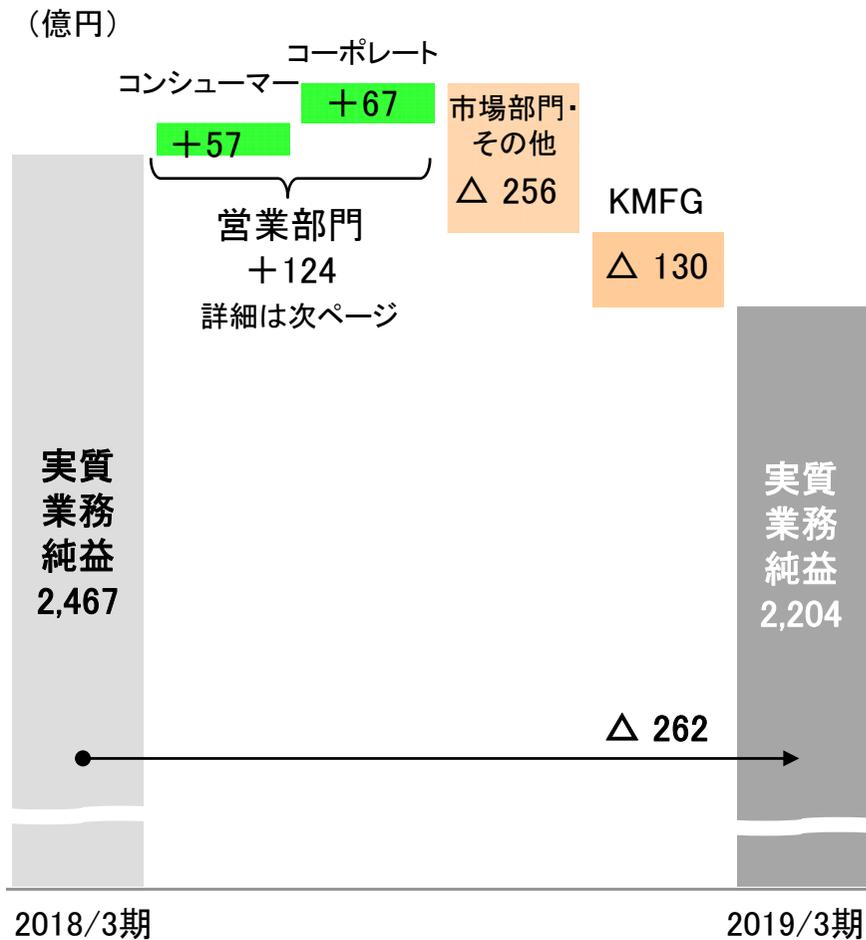


*1. その他有価証券評価差額金除き *2. (親会社株主に帰属する当期純利益-優先配当相当額) ÷ (株主資本-優先株式残高)、期首・期末平均
*3. 2020/3期業績目標(1,600億円)に基づく予想・総還元性向

(ご参考)事業部門別の損益概要

HD連結

(億円)		2019/3期	実質前期比
営業部門	業務粗利益 (1)	4,691	+160
	経費 (2)	△2,986	△34
	実質業務純益 (3)	1,705	+124
コンシューマー事業	業務粗利益 (4)	2,060	+75
	経費 (5)	△1,530	△18
	実質業務純益 (6)	529	+57
コーポレート事業	業務粗利益 (7)	2,631	+84
	経費 (8)	△1,456	△15
	実質業務純益 (9)	1,176	+67
市場部門・その他	業務粗利益 (10)	234	△309
	経費 (11)	△54	+32
	実質業務純益 (12)	199	△256
KMFG	業務粗利益 (13)	1,464	△130
	経費 (14)	△1,164	+0
	実質業務純益 (15)	299	△130
合計	業務粗利益 (16)	6,389	△279
	経費 (17)	△4,205	△0
	実質業務純益 (18)	2,204	△262



管理会計における計数の定義

1. 「営業部門」、「市場部門・その他」はKMFG連結子会社を除くHD連結子会社の計数
2. 「市場部門」の業務粗利益には株式等関係損益の一部を、「その他」には経営管理部門の計数等を含む
3. KMFGの実質前期比は、2018/3期におけるKU、KO、MBの各社連結業績の合計値との比較

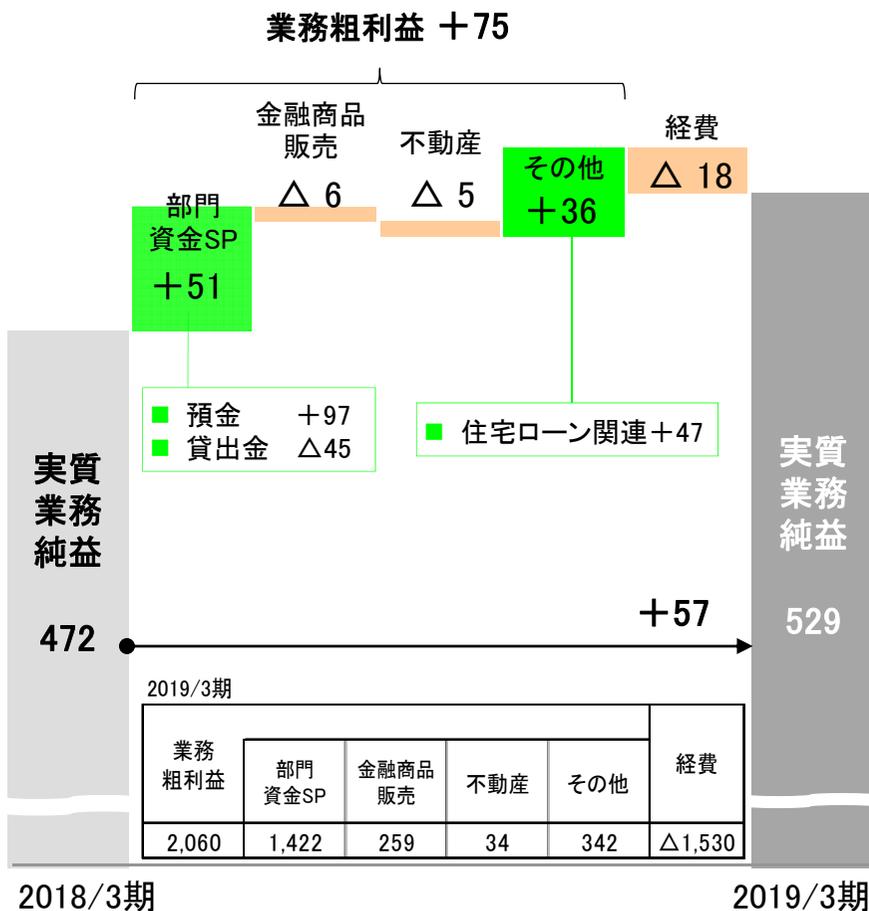
(ご参考) 営業部門の損益概要

HD連結 (KMFG連結除)

コンシューマー部門

■ 実質業務純益は前期比57億円の増益

(億円)



コーポレート部門

■ 実質業務純益は前期比67億円の増益

(億円)

